

# サービスラーニング（自治体との連携：吹田市）

## “吹田市の課題を解決する”



最終発表を終えて

#課題設定・解決型授業  
#地域貢献と学びの統合  
#吹田市との連携

### DATA

- 主な連携先・メンバー  
吹田市シティプロモーション推進室・環境政策室・高齢福祉室
- 活動地域  
大阪府吹田市内
- 活動期間  
2023年度～継続中
- 活動資金  
自己負担

### 目的

地域貢献活動と学習活動を統合した実践志向的な学びを通じて、実際に吹田市が抱えている課題に対して異なる専門性を持つ学生らが協働的な視点で問題解決を試みることを。

### 連携に至る経緯

講義科目「吹田市と関西大学」の発展的なPBL授業で3年生以上が受講できる。吹田市との連携プロジェクト（2018・2019年度）、プロジェクト学習2（2020～2022年度）、サービスラーニング（2023年度～）として開講している。開講当初より吹田市と連携の下進めている。

### 活動内容

本授業では、吹田市と連携の下、学部横断型のプロジェクト学習を行った。行政との連携という科目の性質上、公務員志望の学生も少なくないが、どの職種においても求められる社会人基礎力を身につけることが可能となっている。自分たちの提案が実際の現場に届けられ、場合によっては施策に反映されるといった責任感・緊張感を味わいながら、チームメンバーと議論し、アイデアを練り上げていく。中間発表や最終発表会では、現場の職員に対してプレゼンテーションを行い、直接フィードバックをもらうことができる。

2025年度は、「環境政策室」および「高齢福祉室」の2部署と連携し、それぞれ「廃棄される消防用ホースの再利用～若い世代から広げるアップサイクル～」 「『ふだんの・くらしの・しあわせ』を支える仕事の魅力ってなんだろう？」といったお題をいただいた。今年度は、8学部（法・文・経・商・社・外・人・化）から20名の学生が受講し、4つのチームに分かれて活動を行った。第14回目には、吹田市役所にて最終成果発表会を実施した。



くるくるプラザへのフィールドワーク  
(環境政策室)



最終プレゼン1  
(環境政策室)



最終プレゼン2  
(高齢福祉室)

### 活動の成果

- ▶▶ 成果発表会の参加職員から学生発表に対して総合評価10点中「6.89」～「8.14」の評価を得た。
- ▶▶ 職員アンケートから当該授業の推奨度（NPS）「58.3」と高い評価を得た。
- ▶▶ 高齢福祉室の課題への提案内容が吹田市HP「介護の仕事の魅力が知りたい」に紹介された。

### 連携先からの一言

「行政と大学が連携して取り組む人材育成という観点でも、学生たちに貴重な経験をしてもらっている」「学生さんの熱意ややる気、柔軟な発想などを直接感じることができ、市職員としても刺激をもらえる」

(吹田市職員)

### 今後の課題・目標・展開の可能性

- ▶▶ 提案するところで授業が終わるため、事業化・実装するところまで進めたい。
- ▶▶ 教育・人材育成分野とぜひ連携してみたい。
- ▶▶ 産学官連携型の全学科目が非常に少ないため、もっと増やす必要がある。

教育推進部 教授 山田 剛史 Yamada Tsuyoshi



大阪生まれ。神戸大学大学院博士後期課程修了後、島根大学講師・准教授、愛媛大学准教授、京都大学准教授を経て、2020年10月より現職。専門は高等教育開発・青年心理学。学校（子ども）から社会（大人）へと円滑に移行し、個人と社会のウェルビーイングを高めるための学校教育が研究テーマ。

詳細は [yamatuyo.com](http://yamatuyo.com) にて。

